



Photo by Peretz Partenaky CC BY-SA

みんなですすめる 使い捨てプラスチック 削減ガイド

必要のない使い捨てプラスチックをできるだけ使わない、
プラスチックフリー
「PLASTIC-Free」なライフスタイルにチャレンジ!



堺市環境マスコットキャラクター
「ムーやん」

知っていますか？ 海洋プラスチック



不用意に捨てられたプラスチックの一部が海へと入りこむ
海の生き物を傷つけたり、海の生き物が間違えて食べて
海の環境や生態系に影響を与えることが懸念されています。



(出典：海上保安庁資料)



プラスチックの現状

何が問題なの

プラスチックは、軽量で成形しやすい、着色しやすいなどの利点から、様々な製品に利用されており、私たちの生活に欠かせないものとなっています。

毎年、膨大な量のプラスチックが生産され、消費され、捨てられています。



最近 10 年間で、
20 世紀で使用した以上の
プラスチックが生産されました。



ゴミ全体の 10% がプラスチックです。



毎年、世界では
5 兆枚のビニール袋が
使われています。



わたしたちが
使っているプラスチックの
50% は使い捨てです。



1 分間に 100 万本の
プラスチックボトルが
売られています

(出典：国際連合広報センター HP)

堺市では、毎年、約 5 千トンのプラスチック製容器包装を収集しています。

また、平成 29 年度の調査では、生活ごみのうち 15.4% (約 2 万 3 千トン) をプラスチック類が占めています。

チック問題

ことで、海岸の景観を損なうだけでなく、
しまうなど、

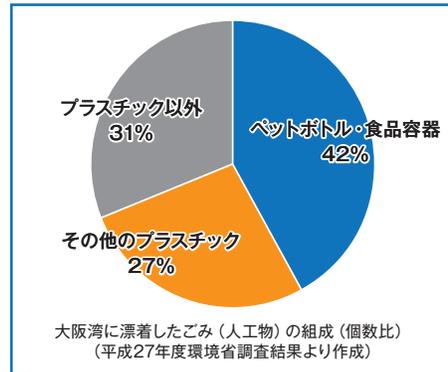


プラスチックごみの課題



(出典：国際連合広報センター HP)

世界で1年間に生産されるプラスチックは約3億2千万トン、そのうち約800万トンが海に流れ出ているとされています。これは、1分ごとにトラック1台分のプラスチックを海に捨てている計算になり、2050年までには、海にあるプラスチックごみの総重量が、海にいる魚の総重量を超えられているとされています。



環境省の調査では、大阪湾に漂着したごみのうち、約7割がプラスチックごみとなっています。

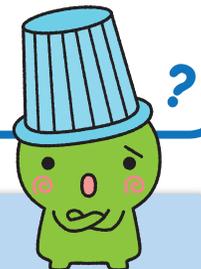


(出典：国際連合広報センター HP)

海のプラスチックごみは細かく砕かれ、
マイクロプラスチックになります。

これを餌と間違えて食べることで、吸着した化学物質が体内に取り込まれ、生態系に影響を与えることが懸念されています。

※マイクロプラスチック…5mm以下の微細なプラスチック



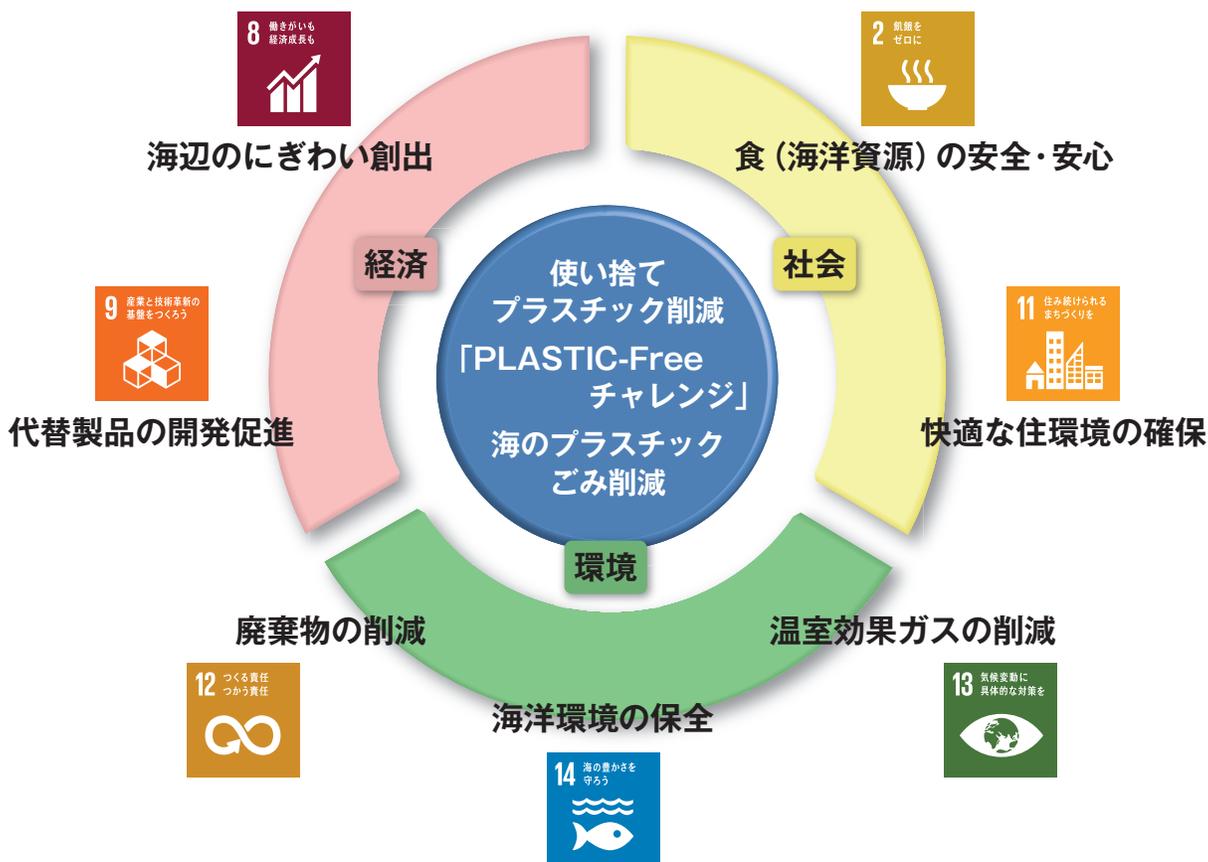
海のプラスチックごみを減らすためには？

賢く使おう！ 使い捨て

海のプラスチックごみを減らすためには、プラスチックごみの発生を必要のない使い捨てプラスチックをできるだけ使用しない、プラスチックフリーなライフスタイルにチャレンジし、使い捨てプラスチックを賢く使いましょう。

はじめよう！「PLASTIC-Freeチャレンジ」

堺市では、市民が身近に取り組めるSDGsの取組として、コンビニエンスストア事業者の応援・協力のもと、必要のない使い捨てプラスチックをできるだけ使用しない、プラスチックフリーなライフスタイルをめざす、使い捨てプラスチック削減運動「**PLASTIC-Freeチャレンジ**」を推進しています。



プラスチック

なるべく減らしていくことが重要です。



使い捨てプラスチックの削減は、海洋環境の保全や廃棄物の減量等に加え、食（海洋資源）の安全・安心の確保や代替製品の開発促進など、**社会面・経済面・環境面**での様々な利益を生み出すものです。

私たち一人ひとりの行動が、SDGsの達成につながります。

※SDGs（エス・ディー・ジーズ）

「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）の略。

2015年9月、ニューヨークで開かれた国連総会において採択された世界共通の17の目標で、2016年から2030年までの15年間に、貧困や不平等・格差、気候変動、資源の枯渇、自然破壊などの様々な問題を根本的に解決することをめざしています。

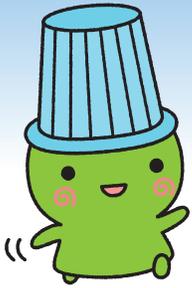
堺市は、SDGsの達成に向けて優れた取組を推進する都市として、平成30年6月、国から「SDGs未来都市」に選定されました。



具体的に、どう取り組めば良いんだろう？

（

市民（消費者）のチャレ



買い物で、飲食店で…使い捨てプラスチックは様々な場面で使い捨てプラスチックを「あたりまえ」「なんとなく」使用してほんの少しの意識と行動が、海と海の生き物を守ることに

チャレンジ!

「マイ○○」

①マイボトルを利用しよう

マイボトルを利用することで、ペットボトルなどの使い捨てプラスチックの使用を抑えることができます。

最近では、マイボトルに飲料を提供してもらえるコーヒーショップなどもあり、中には割引サービスを受けることのできるお店もあります。



◀マイボトルを利用できるお店の検索はこちら

関西広域連合「マイボトルスポットMAP」
(<https://my-bottle.jp/>)

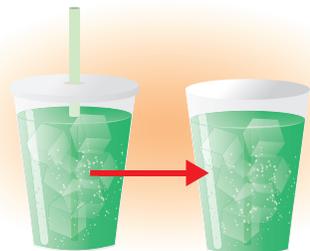
スマートフォン
対応

チャレンジ!

コップで直接飲もう!

紙パック入り飲料を購入した際、使い捨てのプラスチック製ストローがついてくる場合がありますが、家や職場などでコップに入れて飲む場合は、レジで断るようにしましょう。

また、飲食店のドリンクバーでも、使い捨てのプラスチック製ストローが置いてある場合がありますが、使用しないで、コップで直接飲むこともできます。



ンジ!

使用されています。

いませんか?

つながります。



をもちよう!

②マイバッグを持参しよう

1人が年間に使用するレジ袋は約300枚と試算されています。マイバッグを携帯することで、このうち一部は使用する必要がなくなります。最近では、レジ袋を有料販売しているお店も増えてきているほか、マイバッグの利用により値引きやポイント還元を受けられるお店もあります。



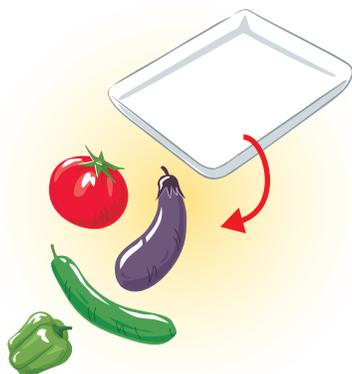
③マイスプーン・マイフォークを用意しよう

職場などで、コンビニエンスストア等で昼食を購入して食べる場合、マイスプーンやフォークを用意しておくことで、使い捨てのプラスチック製スプーン・フォークをもらう必要がなくなります。



チャレンジ!

容器包装の少ないものを選ぼう!



同じ商品でも、メーカーや販売店によって、プラスチック製容器包装の種類や程度は様々です。プラスチック製容器包装の少ないものを買うことは、プラスチックごみを減らすことにつながります。

買い物をする際は、プラスチック製容器包装の量にも注目してみましょう。



事業者のチャレンジ!

これまで、プラスチックの高機能化の技術開発が進められた結果、プラスチックは、食品ロスの削減やエネルギー効率の向上など、今日の私たちの生活に安全・安心・利便性などをもたらしています。

こうした便益を今後も持続的に享受していくために、**経済性や技術可能性、製品・容器包装の機能（安全性や利便性など）の確保に配慮しつつ、自らの製品や事業活動の中で海洋プラスチック問題に貢献していくことが求められています。**



チャレンジ!

消費者（お客様）への働きかけ

使い捨てプラスチックは、その利便性や機能性から様々な製品・サービスに使用されており、消費者は、無意識のうちに使い捨てプラスチックの使用に慣れてしています。消費者（お客様）に、使い捨てプラスチック包装等の必要性を積極的に確認することや、使用しないことへのインセンティブを与えることにより、消費者に気づきを与え、その行動の変革を促すことにつながります。

削減事例

- ・レジ袋や使い捨てストロー、スプーン等が必要かどうかについての声掛けの徹底
- ・レジ袋辞退者へのポイント付与や値引き、レジ袋の無料配布中止
- ・業界団体として統一的な啓発活動の実施



チャレンジ!

製品・サービスの見直しやCSR活動の推進

製品・サービスの中で消費者に提供している使い捨てプラスチックの中には、消費者が必ずしも必要としていないものがあるかもしれません。消費者のニーズを的確に把握することで、削減につなげることができる可能性があります。

削減事例

- ・飲食店で使い捨てのプラスチック製ストローを廃止
- ・プラスチック製カップを紙製に変更

また、近頃では、企業のCSR活動の一環として、社員による使い捨てプラスチック削減の取組を推進している事例もあります。

削減事例

- ・業務で使用した使い捨てプラスチックをリユース
- ・社員による使い捨てプラスチック持ち込みを原則禁止



チャレンジ!

技術開発の推進

技術開発により、製品の質や機能性を確保しつつ、容器包装を減装・肉薄化することや、製品そのものをコンパクト化することで、使い捨てプラスチックの量の削減とともに、コスト削減にもつながる可能性があります。

削減事例

- ・消費者使用実態を的確に捉え、商品重量はそのままに、3袋入りから2袋入りに減装
- ・環境配慮設計により、品質や機能性を損なうことなく、製品外袋やトレイを肉薄化
- ・製品内容の改良により、質を確保しながら内容量を削減し、コンパクト化

まだまだあります！ 海と海の生き物を守るた

プラスチックごみの削減に向けては、まずは使い捨てプラスチックの
しかし、それ以外にも、私たちにできることはまだまだあります。
使い捨てプラスチックを使うとき、捨てるとき、海と海の生き物の

定められた分別に従い、きちんとごみ箱に！

使い捨てプラスチックは、製品の安全・安心の確保や、私たちの便利な生活に欠かせないものです。必要な使い捨てプラスチックは「無理して減らす」必要はありませんが、使用したものについては、「正しく捨てる」ことが大切です。

ポイ捨ては、絶対にやめましょう！



まちなかでポイ捨てされたプラスチックごみは、風や雨で流され、川から海へと入り込む可能性があります。プラスチックに限らず、屋外で出たごみをポイ捨てることは絶対にやめましょう。

決められた区分に従い、分別して捨てましょう！

家庭から発生したプラスチックごみは、市の分別区分に従い、正しく捨てましょう。堺市では、プラスチック製容器包装（商品が入っていた容器や商品を包んでいた包装で、プラマークの付いているもの）を資源として分別収集しており、それ以外の製品プラスチック（おもちゃ、ハンガーなど）は、生活ごみとして収集しています。分別していただいたプラスチック製容器包装は、プランターなどの製品やコークス炉化学原料などにリサイクルされます。

なお、事業活動に伴い発生したプラスチックごみは産業廃棄物に該当しますので、一般廃棄物とは区分し、産業廃棄物（廃プラスチック類）として、排出事業者の責任により適正に処理してください。



めにできること

使用を減らしていくことが最も重要です。



ことを思い浮かべてみてください。

河川や海岸などの清掃活動に参加してみよう!

堺市内では、国、大阪府、堺市などにより、様々な河川や海岸の清掃キャンペーン等が行われています。また、地域や企業等の単位でも、自主的に清掃活動に取り組まれている場合があります。

河川や海岸だけでなく、まちなかの清掃活動でも、海洋プラスチックごみを減らすことにつながります。

海と海の生き物を守る清掃活動に、積極的に参加してみましよう。

大和川・石川クリーン作戦



(出典：大阪府ホームページ)



堺市道路美化キャンペーン



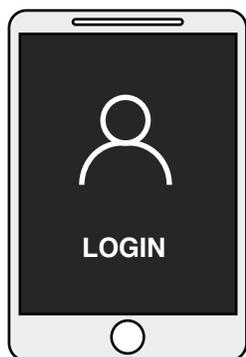
使い捨てプラスチック削減の行動・アイデアを SNSで共有しよう!



堺市では、市民、市民団体、企業等の様々な主体のSDGsに関する取組・アイデアを広く発信・共有する「さかいSDGsシェア」を実施しています。

皆さんの使い捨てプラスチック削減に向けた取組やアイデアをSNSで共有し、使い捨てプラスチック削減の環を広げましょう!

①それぞれのSNSに
ログイン



②「#堺シェア」「#SDGs」の
2つのハッシュタグを付けて
写真やコメントを投稿



③使い捨てプラスチック
削減の取組をみんなで
共有!



どんどん
参加してね!



さかいSDGsシェア (堺市公式) ツイッター
@sakaiSDGsshare
フォロワー募集中!



さかいSDGsシェア (堺市) フェイスブック
@sakaiSDGsshare
いいねをお願いします!



さかいSDGsシェア (堺市公式) インスタグラム
sakaisdgsshare
フォロワー募集中!

みんなですすめる使い捨てプラスチック削減ガイド

平成 31 年 3 月発行

編集/堺市環境局 環境都市推進部 環境政策課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町 3 番 1 号

TEL : 072-228-3982 FAX : 072-228-7063

堺市配架資料番号 1-11-18-0336